



学校だより

夏休み号

2014年7月18日
横浜市立中村小学校

学校教育目標 **ともに生きる社会をつくる子どもを育てます**

- ・相手の話を聞き、粘り強くやりとげられるようにします。(知)
- ・互いを認め合い、高め合えるようにします。(徳)
- ・自他の生命を大切に、健やかな心と体を育みます。(体)
- ・よいこと悪いことを判断し、進んで行動できるようにします。(公)
- ・様々な人とのコミュニケーションを通して、視野を広げられるようにします。(開)

行動から文化・そして伝統へ

副校長 西尾 武泰

本校に転勤してきた教職員が一様に驚くのが、職員室へ鍵を取りに来る子どもたちのマナーの素晴らしさです。

トントン・「〇年〇組の〇〇です。」・「〇〇教室の鍵を取りに来ました。」・「失礼します。」そして、鍵を取り終わると「失礼しました。」

低学年の子どもたちには、まだ辿々しさがあるのですが、学年が上がるにつれて子どもたちが自然と行う一連の動きは、美しさまで感じるほどです。

このようになった経緯の詳細は私にはわかりませんが、この行動はきっと今までの中村小学校の歴史の中で、必要なことだとして教職員と子どもたちの間で作られてきたのだと思います。今ではすっかり全校に定着し、中村小学校らしさを出しています。

私の好きな言葉の中に「行動は繰り返すことにより習慣となり、さらには人格となっていく。そして集団では文化となる。」というのがあります。この言葉のように、マナーよく職員室へ来る子どもたちの行動は、自然と習慣となり、子どもたちの人格まで形成しているように思えます。そして、それが中村小学校の文化ともなっています。この素晴らしい文化をこれからも続けることで中村小学校の伝統となっていってほしいと思っています。

明日からは子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。生活リズムを崩すことなく、しっかりとした行動をして夏休みを過ごせるようにご協力をお願いいたします。

